

# 2009年12月期 第2四半期 決算説明資料



サイオステクノロジー株式会社

(東証マザーズ：3744)

2009年7月28日

# Contents

- 2009年12月期 第2四半期決算概要

- 中期事業戦略の推進状況と通期の見通し

# 2009年12月期 第2四半期決算概要

1Qから2Qにかけて企業の情報化投資は縮小したが、売上は前年同期並をキープ、利益改善により営業黒字で着地

■ 売上高 2,854百万円(前年同期比 1.7%減)



- 国内の「[LifeKeeper](#)」販売は、前年同期に対して増収継続
- 「[SIOS Integration for Google Apps](#)」は、大幅に伸長



- 米国子会社SteelEye社は、世界経済の影響で苦戦
- [ドル安影響](#)が円換算後の海外売上高を押し下げ
- [受託開発分野](#)は依然として低調に推移

■ 営業利益 43百万円(前年同期は △88百万円)

■ 経常利益 40百万円(前年同期は △78百万円)

■ EBITDA 215百万円(前年同期比 120.5%増)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- 原価、販管費の抜本的見直しを行い、[コスト効率を改善](#)



# 2009年12月期 第2四半期業績(連結)

	08年12月期 1-2Q実績	09年12月期 1-2Q実績	増減	業績予想 (09.2.2 発表)	(百万円) 差異
<b>売上高</b>	<b>2,904</b>	<b>2,854</b>	△1.7%	<b>2,610</b>	<b>+9.3%</b>
オープンシステム基盤事業	2,373	2,475	+4.3%	-	-
Webアプリケーション事業	530	378	△28.6%	-	-
<b>売上総利益</b>	<b>1,108</b>	<b>1,111</b>	+0.3%	-	-
<b>販管費</b>	<b>1,197</b>	<b>1,068</b>	△10.7%	-	-
(内のれん償却)	146	135	△7.4%	-	-
<b>営業利益</b>	<b>△ 88</b>	<b>43</b>	-	<b>△ 20</b>	-
<b>経常利益</b>	<b>△ 78</b>	<b>40</b>	-	<b>△ 30</b>	-
<b>当期純利益</b>	<b>△ 116</b>	<b>△ 19</b>	-	<b>△ 60</b>	-
<b>EBITDA</b>	<b>97</b>	<b>215</b>	+120.5%	<b>150</b>	<b>+43.9%</b>
(連結従業員数)	(219名)	(197名)	(△22名)		

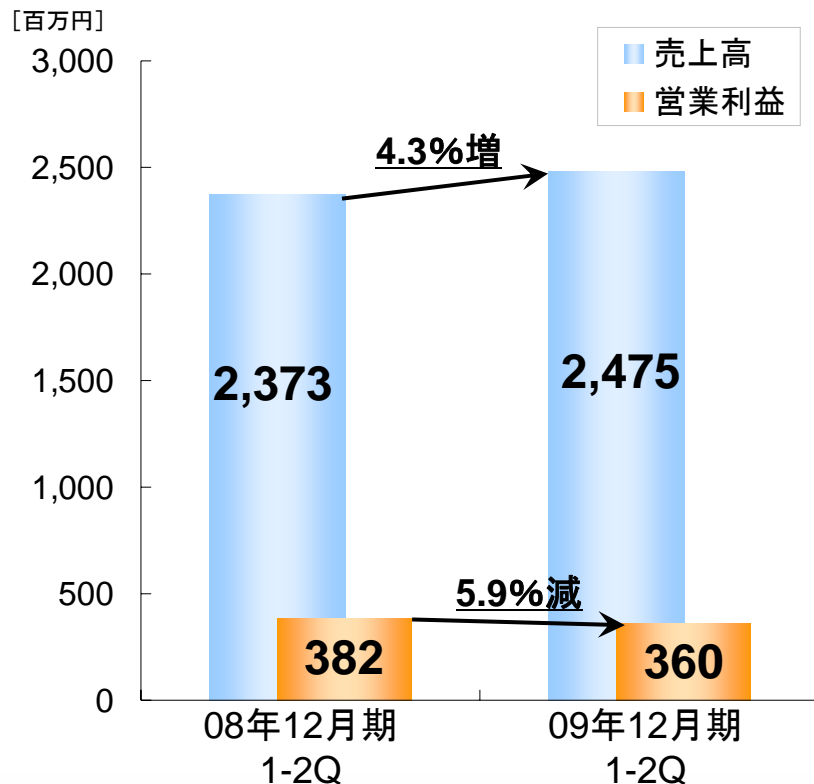
※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額


# 2009年12月期 第2四半期業績(個別)

	(単位:百万円)			(単位:百万円)			(単位:千ドル)		
	サイオス単体			SteelEye単体(¥ベース)			SteelEye単体(\$ベース)		
	08年12月期 1-2Q実績	09年12月期 1-2Q実績	増減	08年12月期 1-2Q実績	09年12月期 1-2Q実績	増減	08年12月期 1-2Q実績	09年12月期 1-2Q実績	増減
売上高	<b>2,541</b>	<b>2,631</b>	+3.5%	<b>391</b>	<b>327</b>	△16.4%	<b>3,728</b>	<b>3,421</b>	△8.2%
(システム基盤)	2,118	2,288	+8.0%	391	327	△16.4%	3,728	3,421	△8.2%
(Webアプリ)	423	343	△18.9%	-	-	-	-	-	-
売上総利益	<b>711</b>	<b>821</b>	+15.6%	<b>367</b>	<b>266</b>	△27.5%	<b>3,504</b>	<b>2,782</b>	△20.6%
販管費	<b>677</b>	<b>661</b>	△2.4%	<b>494</b>	<b>377</b>	△23.7%	<b>4,718</b>	<b>3,948</b>	△16.3%
(内のれん償却)	-	-	-	144	133	△7.6%	1,377	1,393	+1.2%
営業利益	<b>33</b>	<b>160</b>	+372.5%	△ <b>127</b>	△ <b>111</b>	-	△ <b>1,213</b>	△ <b>1,165</b>	-
経常利益	<b>37</b>	<b>158</b>	+316.7%	△ <b>120</b>	△ <b>110</b>	-			
当期純利益	△ <b>6</b>	<b>85</b>	-	△ <b>110</b>	△ <b>96</b>	-			
			換算レート:1\$ =	104.90円	95.60円				
(従業員数)	(169名)	(144名)	(△25名)	(37名)	(37名)	(±0名)			

# オープンシステム基盤事業について

**売上高2,475百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益360百万円(同5.9%減)**



**売上高 2,475百万円** (前年同期比4.3%増) 

[国内]

- 重点製品の「LifeKeeper」は堅調
- OSSによるコスト削減ニーズは底堅く、「Red Hat Enterprise Linux」等も堅調

[米国]

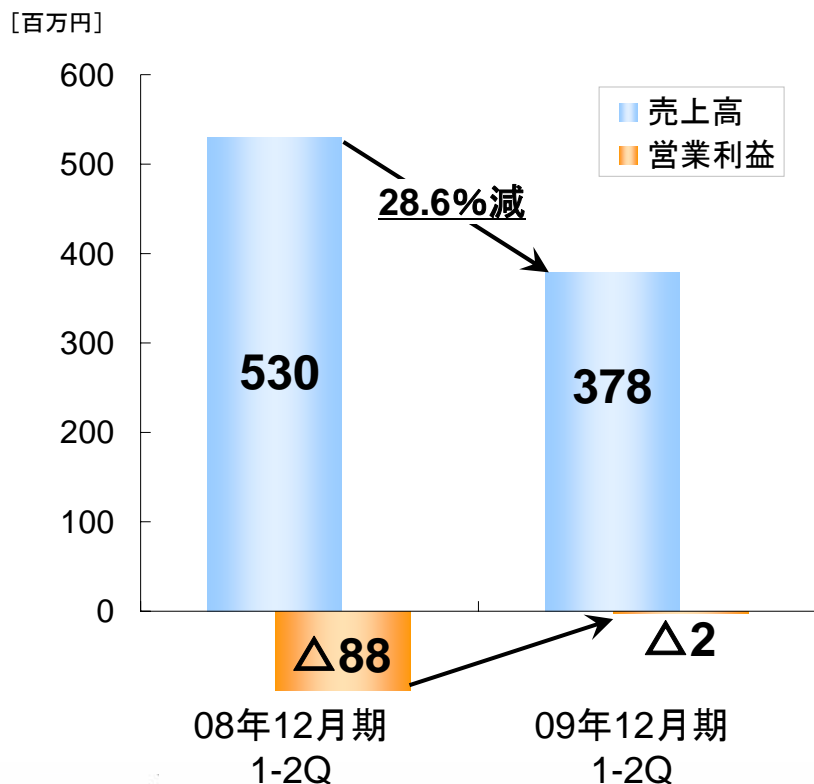
- SteelEye社は、世界経済の影響により苦戦

**営業利益 360百万円** (同5.9%減) 

- SteelEye社の減収により利益率が低下したが、原価、販管費の削減により連結では影響軽減

# Webアプリケーション事業について

**売上高378百万円(前年同期比28.6%減)、営業利益△2百万円(前年同期は△88百万円)**



**売上高 378百万円** (前年同期比28.6%減) ☁

- ・ 重点サービス「SIOS Integration for Google Apps」は前年同期比で大幅伸長
- ・ Webアプリケーション製品販売および受託開発分野は苦戦

**営業利益△2百万円** (前年同期は△88百万円) ☀

- ・ 受託開発案件のコスト管理を徹底
- ・ 「SIOS Integration for Google Apps」等が好影響
- ・ 中長期成長に向けて、クラウドコンピューティング分野への研究開発投資を継続実施

# 2009年12月期 第2四半期末貸借対照表

(単位:百万円)

	連結		増減	
	08年12月期 期末実績	09年12月期 2Q末実績		
流動資産合計	3,649	3,454	△ 195	現預金+481、売掛金△166、 有価証券△108、前渡金△355、他△47
固定資産合計	1,335	1,275	△ 59	のれん償却△94、 基幹システム更新他+34
(のれん)	917	823	△ 93	
資産合計	4,985	4,730	△ 254	
流動負債合計	2,386	2,182	△ 203	前受金△218、他+14
(1年内返済長期借入金)	250	250	0	
固定負債合計	411	366	△ 44	長借返済△125、退職給付引当+21、 リース債務他+59
(長期借入金)	375	250	△ 125	
負債合計	2,798	2,549	△ 248	
純資産合計	2,187	2,180	△ 6	
負債純資産合計	4,985	4,730	△ 254	

# 2009年12月期 第2四半期キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	連結		増減	
	08年12月期 1-2Q実績	09年12月期 1-2Q実績		
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	535	+208	税前純利益の増加影響や 未収入金の減少影響等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 276	87	+364	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 125	△ 174	△ 49	定期預金の解約等
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 33	23	+57	自己株式取得等
現金及び現金同等物の増減額	△ 109	472	+581	
現金及び現金同等物の期首残高	1,251	1,285	+33	
現金及び現金同等物の期末残高	1,142	1,757	+614	

# Contents

- 2009年12月期決算概要

- 中期事業戦略の推進状況と通期の見通し



# 中期成長ビジョン

- 世界IT産業のインフルエンサーになるための序章
- 健全で継続的なイノベーション、M&A

- Linuxの流通拡大
  - Red Hat Enterprise Linux
- Java開発の先駆け
- LifeKeeperの自社製品化

売上高50-60億円レベル

1st Step

今期(2009年)

- 自社製品・サービスの拡大
  - LifeKeeper
  - SIOS Integration for Google Apps
- OSSワンストップソリューションの展開
- アジア圏への本格進出

2nd Step

売上高100億円レベル

3rd Step

中期(3~5年)

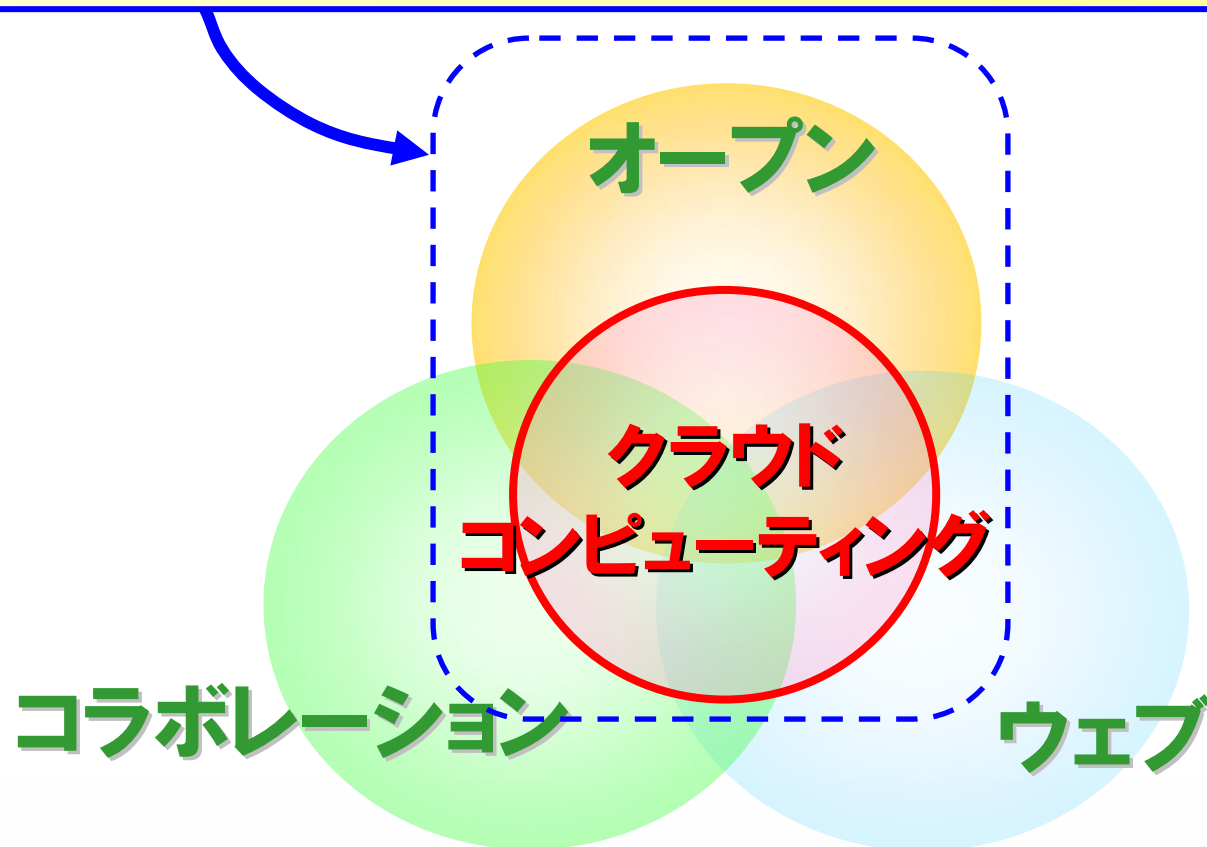
- 既存事業領域の深掘と新規事業領域参入の土台
  - 既存ソフトウェアの連携機能拡大
  - クラウドコンピューティング領域の展開
  - 次世代のOSSやアプリケーションの展開
  - 新規事業領域への参入と拡大

昨年  
まで



# 『クラウド』と『OSS』を中心に展開

当社のテクノロジー強化領域から、特に“クラウド”分野と  
“オープン” ソーステクノロジー(OSS)分野を中心に展開



# 『クラウド』の展開

## ■ クラウドコンピューティング

### ➤ Google Apps導入実績

- 上期導入実績、岡山大学様、D&Mホールディングス様、他多数
- 累積獲得ユーザー数は大学を中心に**20万人を突破**

### ➤ Google App Engine for Java上で稼動するビジネスアプリケーションを**業界に先駆けて実用化**

- 次世代インテグレーション「クラウドインテグレーションサービス」
- 導入実績、横浜YMCA様(7月)を始め、徐々に受注拡大

### ➤ Google Appsの企業向け導入促進

- Google AppsのAuthorized Reseller(認定リセラー)に(4月)

### ➤ アライアンス強化

- 統合ID管理ソリューション提供で日本HP、エクスジェンと協業(4月)



# 『OSS』の展開

## ■ OSS (オープンソースソフトウェア)

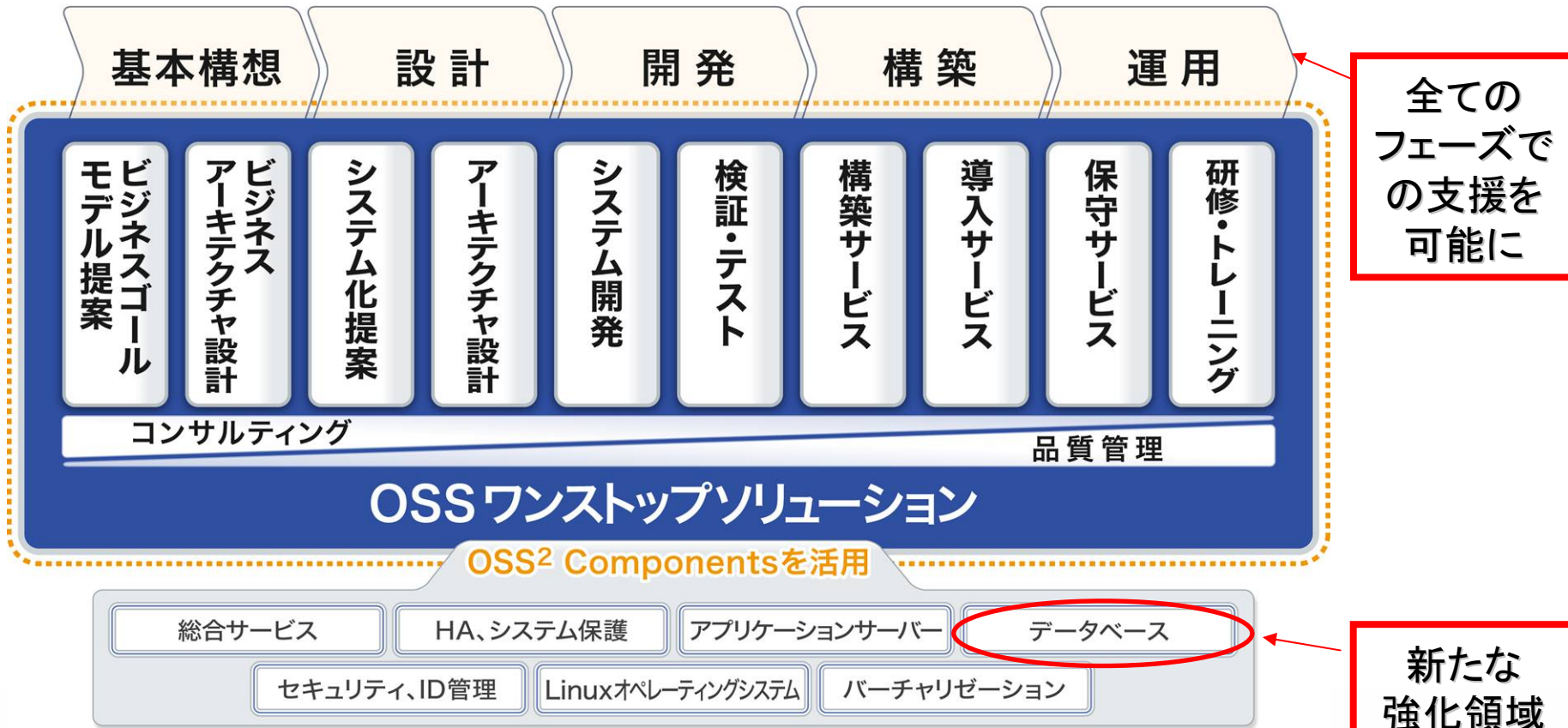
### ▶ 「OSSワンストップソリューション」の展開

「OSS」と商用ソフトウェア(プロプライエタリ・ソフトウェア)の混在環境で、最適なモデルをワンストップで実現

- ▶ OSS・コンポーネントの強化
  - これまでの実績に加え、データベース分野を特に強化(7月)
- ▶ プロプラ・コンポーネントの強化
  - 「LifeKeeper」のバージョンアップ(下期)
  - 「DataKeeper」の国内市場投入(4月)
- ▶ 中国マーケットへの本格参入
  - 北京に現地法人を設立し本格参入を計画(下期設立予定)

# 「OSSワンストップソリューション」の展開

## オープンソースソフトウェアを活用した 企業システムの提供



# 「OSSワンストップソリューション」のコンポーネント

## OSS<sup>2</sup> Components

総合サービス

コンサルティングサービス

品質管理サービス

OSSよろず相談室

HA、システム保護

LifeKeeper

DataKeeper

アプリケーションサーバー

WebLogic / WebSphere

Apache / Tomcat / mod\_jk

JBoss Enterprise Platform

データベース

Oracle / DB2

Postgres Plus / PostgreSQL / MySQL

セキュリティ、ID管理

Anti-Virus / Web Filtering

Identity / Access Management

Linux

オペレーティングシステム

SUSE Linux Enterprise

Red Hat Linux Enterprise

Oracle Unbreakable Linux

バーチャリゼーション

Oracle VM

Xen / KVM / VMware

Componentsを利用した  
ワンストップソリューションの提供



ワンストップソリューション



基本  
構想

設計

開発

構築

運用

Componentsを利用した  
各種ソリューションモデルの提供



ソリューション



OSSによる  
コスト削減



ソリューション



事業継続  
ソリューション



## 個別重点課題の状況(詳細)

技術・製品・サービスの強化

販売・マーケティングの強化

グローバル展開の推進

組織・人事体制の強化

コンプライアンスの強化



# 個別重点課題の状況(詳細)①

## ■ 技術・製品・サービスの強化

### ➤ 既存製品・サービス: 選択と集中による自社製品強化

#### - 「LifeKeeper」の機能強化

- メジャーバージョンアップ(下期予定)

#### - 「SIOS Integration for Google Apps」

- 技術体制の拡充による対応案件数拡大(上期)
- 累計獲得ユーザー数20万アカウント突破(上期)
- 導入実績: D&Mホールディングス様、岡山大学様、他多数(上期)

### ➤ 新製品・サービスの投入

- SteelEye社開発の国内向け低価格データレプリケーション製品「DataKeeper」発表(上期)

#### - Webアプリケーション新製品

- 簡易版プロジェクト管理ツール「ProjectKeeper Lite」(上期)
- 複合機に搭載する文書管理ソフト「Quickスキャン」(下期)

- クラウドビジネスを中心とした先行投資的な研究開発を実施(通期)

- Google App Engine 上で稼動するビジネスアプリケーションを業界に先駆けて実用化(上期)



## 個別重点課題の状況(詳細)②

### ■ 販売・マーケティングの強化

- 製品・サービス別販売ルートの再構築と強化
  - エンドユーザーへのダイレクトアプローチ体制の拡充(通期)
  - パートナー連携体制を更に強化(通期)
- 顧客満足度向上及び保守・更新ビジネス強化
  - OSS活用によるコスト削減の総合支援を行なう組織を拡充し、「OSSワンストップソリューション」の提供を開始(下期)
  - 営業社員向け教育を強化実施(下期)

### ■ グローバル展開の推進

- SteelEye社の業容拡大、アジア圏への事業拡大
  - アジア圏の事業展開準備組織をプロフィットセンター化(上期)
  - 中国現地法人設立準備(下期設立予定)



# 個別重点課題の状況(詳細)③

## ■ 組織・人事体制の強化

- 事業推進力の向上を目的とした新体制に転換(随時見直し)
- 技術企画・マーケティング企画機能の強化(上期)

## ■ コンプライアンスの強化

- 内部統制の強化のため、制度運用と継続的見直し(通期)

## ■ その他

### ➤ 自己株式取得状況

- 実施期間:2月3日~3月31日、5月12日~6月30日
- 平成21年6月30日時点の自己株式の保有状況
  - 1) 発行済株式総数(自己株式を除く) 86,704株
  - 2) 自己株式数 2,040株

# 2009年12月期 通期業績予想

## 通期は期初予想を据え置き

(単位:百万円)

	連結		増減額	増減率
	08年12月期 実績	09年12月期 予想		
<b>売上高</b>	<b>5,815</b>	<b>5,250</b>	△ 565	△ 9.7%
オープンシステム基盤事業	4,908	4,300	△ 608	△ 12.4%
Webアプリケーション事業	906	950	+44	+4.7%
<b>売上総利益</b>	<b>2,444</b>	<b>2,440</b>	△ 4	△ 0.2%
<b>販管費</b>	<b>2,390</b>	<b>2,380</b>	△ 10	△ 0.4%
(内 のれん償却)	289	260	△ 29	△ 10.2%
<b>営業利益</b>	<b>53</b>	<b>60</b>	+7	+11.3%
<b>経常利益</b>	<b>74</b>	<b>50</b>	△ 24	△ 32.4%
<b>当期純利益</b>	<b>△ 101</b>	<b>△ 50</b>	+51	-
<b>EBITDA</b>	<b>429</b>	<b>430</b>	+1	+0.2%

※EBITDA・・・営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

## ご参考

- サイオステクノロジーについて
- 当社グループの事業領域

## Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、Linuxに代表される**オープンソースソフトウェア(OSS)**の開発と利用を軸に、**Webアプリケーションソフトウェア**や**OS(基本ソフトウェア)**にかかわる事業を推進しております。最先端のソフトウェア技術を活用することで、ソフトウェア製品の開発・販売・サポート、情報システムの受託開発、システム基盤構築、運用サポート等を展開してまいりました。

これからも**革新的なソフトウェア技術**を追求し、**世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」**となって価値を創造し、社会の発展に貢献してまいります。



(2009年6月30日現在)

本社：東京都港区虎ノ門4-1-28

設立：1997年5月23日

連結子会社2社：SteelEye Technology, Inc.(米)、株式会社グルージェント

資本金：1,481百万円

社員数：連結197名、個別144名



# 当社グループの事業領域

## オープンシステム基盤事業

**Linuxソリューション**  
Linuxディストリビューション関連

**システム運用管理ソフトウェア**  
「LifeKeeper」「Data Replication」

**システムインテグレーション**  
「SIOS Integration for Google Apps」 「受託開発」

**オープンソースソフトウェア(OSS)サポート**

**エンジニア向けトレーニング**

## Webアプリケーション事業

**Webアプリケーションソフトウェア**  
プロジェクト管理ソフト  
「ProjectKeeper」  
営業支援ソフト  
「Sales Force Automation+」



## ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

## 本件に関するお問い合わせ

サイオテクノロジー（IR担当）

03-6860-5105（代表）

Webによる場合はこちらからお問い合わせください → [https://www.sios.com/ir/form-IR\\_ssl.html](https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html)



SIOS